

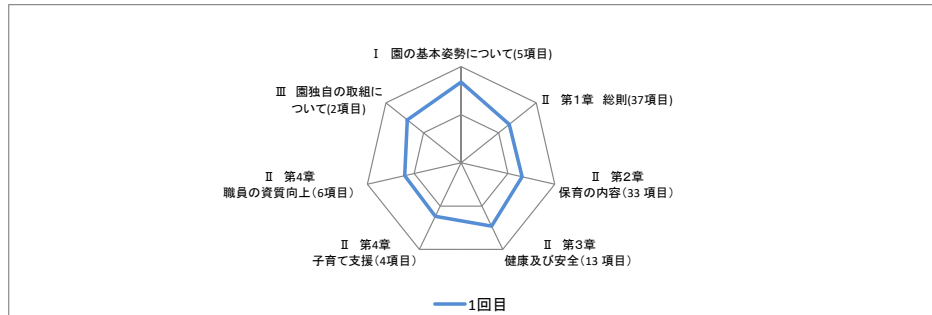
<評価方法>

十分理解できている(十分にできている)…◎3点 理解している(できている)…○2点 ふつう…▲1点 努力が必要…×0点

集計結果（チェック3回分）

評価	1回目				2回目				3回目			
	◎	○	▲	×	◎	○	▲	×	◎	○	▲	×
I 園の基本姿勢について(5項目)	45	39	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
II 第1章 総則(37項目)	131	346	124	28	0	0	0	0	0	0	0	0
第2章 保育の内容(33項目)	123	297	134	7	0	0	0	0	0	0	0	0
第3章 健康及び安全(13項目)	81	106	30	4	0	0	0	0	0	0	0	0
第4章 子育て支援(4項目)	14	34	16	4	0	0	0	0	0	0	0	0
第5章 職員の資質向上(6項目)	26	38	30	8	0	0	0	0	0	0	0	0
III 園独自の取組について(2項目)	12	16	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0

レーダー



<評価>

良かった点

- ・園の基本姿勢と、園独自の取り組みについては、おおむね実施・理解できている評価となった。
- ・感染症流行期が長期間続いたこともあり、健康・安全への理解と知識は高まったと感じた。

課題

- ・知識の確認では、養護に関する知識や計画や保育内容の”評価”ができていなかった。また、保育の知識も職員全体での共有は不十分と考えられた。
- ・地域に子育て支援や不適切養育等が疑われる家庭への支援の具体策の共有が不十分であった。
- ・コロナ禍で研修機会が減少したこともあり、職員の資質向上が不十分と感じられた。

<次年度への改善点>

- ・保育の基本原則以外の知識(社会的責任や養護)が不十分であったため、研修の機会を設ける。
- ・指導計画や保育を評価する視点、幼児教育を行う施設としての視点が弱いため、強化していく必要がある。
- ・発達年齢による視点、ねらい、内容などは、保育教諭間でのばらつきが生じているため、全職員で共有できるようにしていく。
- ・地域における子育て支援や不適切養育等が疑われる家庭への支援の具体策について、職員間できちんと共有する。
- ・研修機会を積極的に設け、園外研修だけでなく、園内研修も含めて、資質向上の機会を維持できるようにする。